

会議録要旨

(敬称略)

| | |
|-------------|--|
| (1) 会議の名称 | 令和5年度第1回あわら市国民健康保険運営協議会 |
| (2) 開催日時 | 令和5年8月7日(金) 19:00~20:00 |
| (3) 開催場所 | あわら市役所 101 会議室 |
| (4) 出席委員 | 道谷 成雄、佐々木 誠三、谷口 美智子、坂野 彰、坂井 健志、西野 暢、池田 美由、赤尾 政治、大井 尚美 |
| (5) 欠席委員 | 林 明美、山岸 敏幸、徳丸 敏郎 |
| (6) 出席所管課職員 | 市民生活部長 山下 綱章 【市民課】 課長 矢部 優子 課長補佐 小嶋 裕子 主事 竹内 弘安 【税務課】 課長 三上 健太郎 課長補佐 相模 恵利 |
| (7) 傍聴人 | なし |
| (8) 会議議題 | 協議事項 (1) 令和4年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算状況について 協議事項 (2) あわら市国民健康保険税率改定について 報告事項・新型コロナウイルス感染症に伴う対応について ・後発医薬品使用割合と今後の取り組みについて |
| (9) 配付資料 | 資料1~3、当日配布資料 |
| (10) 会議要旨 | <p><u>(1) 令和4年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算状況について</u></p> <p>委員 被保険者数が減少し一人あたりの医療費が増加するというのは、今後さらに財政状況が悪化するということか。</p> <p>事務局 一人あたりの医療費は増加しているが、団塊の世代が後期高齢者へ移行していることもあり、なだらかな減少に落ち着いていくのではと予測しているが、医療の高度化もあり何とも言えない。</p> <p>委員 団塊の世代が後期高齢者へ移行しているから、今後医療費は減少するのか。</p> <p>事務局 現在団塊の世代の中でも特に多い世代が後期高齢者へ移行中である。医療費が減少することを期待している。</p> <p>委員 決算状況を見ると9,973万の黒字である。歳入は29億円で、繰越しがあるため単年度収支は赤字22万6千円ということか。</p> <p>事務局 単年度で見ると22万6千円の赤字である。</p> |

委員 基金は貯金ということで、5万7千円貯金したということか。
事務局 そうである。
委員 歳入総額の中に前年度繰越金が入っているのか。
事務局 1ページの下の方に記載しているが、1億1万4千円の前年度繰越金があった。
委員 前年度繰越金を差し引いているからこの数字になるのか。実質収支が繰越金になるのか。
事務局 そのとおりである。
議長 採決（全員賛成）

（2）あわら市国民健康保険税率改定について

委員 以前令和8年度と言っていたのは何か。
事務局 資産割廃止である。
委員 令和12年頃に県下統一になったらどの市町に住んでいても同じ税率になるのか。
事務局 そのとおりである。
委員 本市改定税率(案)と平均の部分で、平均というのは、資産割を完全に廃止した市町の平均で、あわらの方が均等割・平等割は安いのか。
事務局 所得額に対して11%の税率をかけるという意味になり、所得額に応じて変わるため、この数字だけで一概に高い安いはわからない。
委員 均等割平等割は金額だから、金額が500円安くても所得割の%が高い方が実際は高いかもしれないのか。
事務局 そのとおりである。
委員 資産割を廃止するということは、市町に入る税金は少なくなるということか。
事務局 そのとおりである。資産割を廃止する時に所得割の税率を改定する市町もある。
委員 令和12年頃に県下統一になったら、どの市町に住んでいても同じ税率になるのか。
事務局 同じ所得、同じ家族構成の場合は、どこに住んでも同じ保険税額になるということである。
委員 一旦資産割廃止の3方式で保険税率が決まっても、県内の保険税統一の金額になるのはその後か。
事務局 そのとおりである。
議長 採決（全員賛成）
事務局 報告事項 2点